

令和5年度 指定管理者年度総合評価表

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

作成日	令和6年6月6日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市運動公園体育施設（長根公園及び有料公園施設ほか10施設）		
所在地	八戸市大字売市字興遊下3番地ほか		
施設概要	長根公園	長根公園及び有料公園施設、八戸市体育館、八戸市スポーツ研修センター、八戸市武道館	売市字興遊下3番地ほか
	新井田公園	新井田公園及び有料公園施設、新井田インドアリンク	新井田西四丁目1－1
	東運動公園	東運動公園及び有料公園施設、八戸市東体育館	湊高台八丁目1－1
	屋内トレーニングセンター	—	河原木字谷地田4番地
	南部山健康運動公園	南部山健康運動公園、八戸市南部山健康運動センター	河原木字蝦夷館3番地6
指定管理者	名称	エスプロモ株式会社	
	代表者	代表取締役 坂頂 昭治	
	所在地	青森県八戸市大字湊町字大沢28番地133	
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
指定管理者の業務	使用許可、施設設備の維持管理、その他		
市所管課 （問合せ先）	観光文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興グループ		
	電話	0178-43-9159（直通）	
	e-mail	sportsshinkou@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	3期5年目（通算15年目）であった今期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用制限が解除されたことにより、令和4年度比で利用人数116%、利用料金収入で111%とともに上回り、令和元年度比でも利用人数84%、利用料金93%と徐々に回復傾向にある。 維持管理経費は、賃金水準の向上による外注費の上昇や石油、電気料の高騰、物価の上昇が前年に引き続き収支状況に影響した。特に電気料金は、効率的な設備運転に努めたが、今公募期間内での大幅な単価上昇により35%の増加となった。 運営面では、アンケート等のセルフモニタリングにより、利用者の意見要望を管理運営に反映し、サービス向上に努めた。また、新入社員向け外部セミナー受講やプール監視、緊急時対応教育・訓練により利用者のサービス向上や安全確保に努めた。 修繕については、施設の老朽化が進む中で、日常点検で機械、設備、器具の状態を確認し、異常を早期に発見することで、コスト縮減を図るとともに、機械設備の予防保全と機能の回復に努めた。また、設備器具のメンテナンス、塗装等の環境美化作業やグラウンド攪拌整備作業、プール水抜き作業を行い、利用者が安全快適に利用できる施設の提供に努めた。 その他、日常多くの個人情報を取り扱う事業者として、第三者機関が認証するプライバシーマークを取得更新し、全施設で統一した基準により運用し、利用者の個人情報保護体制の確立に取り組んだ。 自主事業では、恒例となっている八戸ちびっこマラソン、八戸リレーマラソン、南部山ウォーク等のスポーツイベントや無料または低廉な料金で開催している各種教室により、市民のスポーツ振興・運動習慣の動機付け、健康保持・体力向上の貢献に努めた。
今後の目標	これまで行ってきた環境整備や利用者サービスの向上策を継続しながら施設の活性化を図り、誰もが安心してスポーツや健康づくりを楽しめる施設を提供することで、利用者満足度の高い指定管理業務を目指す。 管理するスポーツ施設は老朽化が進んでいるが、施設のさらなる長寿命化を目指し、管理者ならではの視点から提案できる予防保全のための修繕やメンテナンスを計画し、休場により施設稼働率を低下させることのないようノウハウを活用する。

■市（所管課）の総合評価

評 価	長年にわたる管理実績や経験、ノウハウ等を活かし、施設の適正な維持管理、利用促進及びサービスが継続的かつ安定的に実行されており、総合的に見て良好な管理運営が行われていたと評価できる。 施設管理面では、徹底した日常点検により、施設の状態を的確に把握し、必要な保守や修繕を的確に行うなど、良好な利用環境の維持に努めている。 運営面では、アンケート等により把握した利用者のニーズに対応したり、様々な自主事業を開催したりすることで、利用率の向上や来館者の増加を図っている。
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容に比べ、利用者の要望に合わせて開場時間を延長するなど、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	管理運営に必要な人員を適正に配置し、施設の特性に合わせ資格者を配置していた。 ・スケールメリットを活かし、繁忙期や作業内容に応じて、施設間で人員を調整するなど効率的な人員配置をしていた。 ・赤十字水上安全法救助員資格研修や小型車両運転研修等、研修対象者を増やし、基準以上の資格者の確保に努めていた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	○	年間を通じて職員として雇用していた。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・地域団体の定例行事の優先利用など積極的に協力していた。
従事者の教育・研修	◎	従事者の教育や研修が非常に良く行われていた。 ・専門業者による人事研修やプライバシーマーク研修、最新応急処置法情報の研修が実施されていた。
緊急事態への対応	◎	事故、災害等の緊急事態への準備や対応が非常に良くできていた。 ・緊急時避難誘導マニュアルや設備点検マニュアルを整備し、非常用発電機を全施設に確保していた。 ・利用者に対し、事故や怪我の未然防止のための対策を図るとともに、事故等の発生時にも適切な対応をしていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	—	条例に基づいた利用料金のため該当しない。

口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切に行われていた。 ・通帳と印鑑は別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設の使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 ・使用制限、使用条件の変更、入場拒否等はなかった。
施設、設備の保守管理	○	施設・設備等の保守管理が適切に行われていた。 ・定期点検を行い、施設・設備の状況を把握し、適切な保守管理を行っていた。 ・修繕料の効率的な活用によりコストの削減に努めながら、施設維持の水準を落とすことなく適正な修繕が行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕）が適切に行われていた。 ・定期的な点検等により状態を把握し、適切な管理が行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	◎	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 ・清掃業務、警備業務については外部業者に委託し、現場確認等により実施状況を確認していた。 ・委託業者に任せるだけではなく、定期的に自己点検を行っていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
利用状況	○	利用者数（利用者＋観覧者数）が当初の目標（700,000人）を達成するとともに、前年度実績を上回ったが、コロナ禍前の令和元年度実績には満たなかった。 【全体の実績】 令和元年度 利用者数： 943,204人 利用料金：129,993,174円 令和4年度 利用者数： 682,072人 利用料金：108,286,855円 令和5年度 利用者数： 792,204人 利用料金：120,678,485円
自主事業	○	各種スポーツ教室やイベントを実施した結果、昨年度と比較すると参加人数は増加し、施設の有効な活用と市民サービス向上に効果があった。 （ ）内は、令和4年度実績 ・スポーツ教室 計47教室 参加のべ人数 10,940人（9,597人） ・八戸ちびっこマラソン 小学生603人（552人） ・八戸リレーマラソン 836人（412人） ・南部山ウォーク 384人（中止）
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	自主的な取組を行った結果、サービスの向上に大きな効果があった。 ・プライバシーマークの認定更新による個人情報保護体制の確立。 ・利用促進のためのトレーニング講座指導プログラムの充実。 ・冬季イルミネーション設置による利用促進のための演出。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	○	電気料金等エネルギー価格が高騰するなか、従来からの工夫による支出の削減や各種支援補助金により、黒字であった。
		※令和6年1月、指定管理者から市に対し、電気料金高騰に伴う光熱水費への補填要請があった。
		(単位：円)

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みが出来ていた。 ・利用者アンケートを実施し、利用者満足度の把握に努めており、利用者満足度の向上に努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。 ・ホームページや広報はちのへ、ラジオ等を活用し、施設の情報積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 ・施設内に苦情・要望を徴するためのご意見箱を設置している。 ・スポーツ教室利用者などにアンケート調査を実施している。
苦情・要望等への対応	○	苦情、要望については、可能な限り柔軟に対応していた。 ・市に寄せられた、接遇や施設の設備に関する苦情・要望に対し、可能な範囲で対応した。

個人情報の保護	◎	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。 (運用実績なし) また、全社員及び常駐業者社員に対し個人情報保護に関する研修（プライバシーマーク研修）を実施している。
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、従業員に随時注意を促すなど、適切に対応されていた。 ・外部機関による指導のもと、情報の取扱いを適切に行う体制等を整備している。
環境への配慮	○	環境に配慮した省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等の対応を適切に行っていた。 ・積極的に節電節水に取り組み、エネルギー節減に努めた。
障がい者への配慮	○	障がい者用の駐車スペースの確保や施設に車椅子を配置するほか、障がい者に配慮した声掛けや誘導を行える体制ができていた。 なお、条例・規則の規定による障がい者の減免利用が年間3,797件、5,052人であった。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	・各館事務室付近に設置する「ご意見箱」による要望・意見の収集及び対応 ・スポーツ教室参加者への「アンケート調査」集計及び事業実施計画へのフィードバック ・安全確保及びサービス向上を図るためのスタッフ研修の実施 ・利用満足度調査実施（年2回） ・器具等の日常点検、定期整備の実施及び記録

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	毎月の利用状況報告、年1回の事業実績報告及び年間事業計画が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	約10回	随時	担当	各施設にて、施設管理状況等を確認
		2月13日	GL、担当	新井田公園にて使用許可や利用料徴収状況・施設の管理状況等を確認。
		2月20日	GL、担当	東運動公園にて使用許可や利用料徴収状況・施設の管理状況等を確認。
		2月26日	GL、担当	長根公園及び屋内トレーニングセンター、南部山健康運動センターにて使用許可や利用料徴収状況・施設の管理状況等を確認。
	実施結果			
良好な管理運営が行われていた。				

※GL：グループリーダー